

住宅ローン利用者の実態調査結果

＜住宅ローン利用予定者調査（2025 年 4 月調査）＞

（概要）

I 調査の概要

今後 5 年以内に住宅ローンを利用して住宅を取得する計画がある方を対象に、住宅取得に向けた意識や希望する住宅ローン等について調査を実施し、その結果をとりまとめたものです。

（参考）調査実施時期：2025 年 4 月 30 日～5 月 12 日、回答数：1,500 件

II 調査結果の主なポイント

＜ ＞ は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1. 住宅の買い時意識 <p. 8>

－今後 1 年程度を買い時と思う割合は約半数－

「買い時だと思う」「どちらかと言うと買い時だと思う」：54.2%

（主な理由）「住宅ローン金利が上がりそう」、「住宅価格が値上がりしそう」

「買い時とは思わない」「どちらかと言うと買い時とは思わない」：45.7%

（主な理由）「住宅価格が高い」

2. 希望する住宅ローンの金利タイプ <p. 15>

－「全期間固定型」が 2.7 ポイント増加－

「変動型」：37.1%（2024 年 10 月調査比 ▲1.6 ポイント）

「固定期間選択型」：32.3%（2024 年 10 月調査比 ▲1.0 ポイント）

「全期間固定型」：30.7%（2024 年 10 月調査比 +2.7 ポイント）

3. 日本銀行の金融政策変更の影響 <p. 17>

－62.1%が「住宅ローン選択」に関して変化があったと回答－

（変化の内容）

「借入額を減らす方向で考えている」：23.5%

「返済期間を短くする方向で考えている」：13.7%

「金利タイプを見直そうかと考えている（変動型→全期間固定型等）」：8.7% 等

4. 希望する金利タイプのメリット・デメリットの理解 <p. 16>

－「理解しているか少し不安・よく理解していない・全く理解していない」が 63.9%－

本調査結果の詳細は、住宅金融支援機構ホームページ(https://www.jhf.go.jp/about/research/loan_user.html)に掲載